



共に創り  
未来へつなぐ  
湯のまち  
熱海

— 第 5 次 —

熱海市総合計画  
ATAMI CITY MASTER PLAN

概要版



## 「共に創り 未来へつなぐ 湯のまち 熱海」を目指して

熱海市は、昭和40年代に宿泊客数のピークを迎えましたが、高度経済成長期を過ぎるとその数は減少に転じ、さらにバブル経済の崩壊による景気低迷を経て市内経済は衰退の道を辿り、市の財政も危機的な状況に陥りました。

この状況を打開するため、平成18年(2006年)に財政危機宣言を行い、財政再建に本格的に取り組むとともに、地域資源の磨き上げやシティプロモーションなどにオール熱海の体制で取り組んだことで、平成27年(2015年)から5年連続で年間宿泊客が300万人を超えるまでに回復しました。

一方で、市民生活の質的向上を目指し、教育や福祉施策の充実に力を入れてきましたが、人口減少と少子高齢化には歯止めがかかっておらず、生産年齢人口が減少していく課題は継続しており、財政状況の好転が見込みにくい状況となっております。

さらに、令和の時代となり、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、市内経済は大きな打撃を受けるとともに、令和3年(2021年)7月には、伊豆山地区において大規模な土石流災害が発生し、熱海市はこれまでに経験したことのない未曾有の危機に直面しています。

このような中、社会環境の変化を捉え、これからの時代のニーズに的確に対応しながら、今後予想される更なる人口減少や税収減の状況下においても、持続可能なまちづくりを進めるため、その方向性や目指す姿を表した最上位計画として「第五次熱海市総合計画」を策定し、本市の目指す将来都市像として「共に創り 未来へつなぐ 湯のまち 熱海」を掲げました。

総合計画にバラ色の未来を描く時代は終わりました。特に地方中小都市の衰退は現実視され、温泉観光地もその例外ではありません。しかしながら熱海市は、海、山、温泉、首都圏へのアクセスの良さなど、温泉観光地として持てるもの全てを持っている、私はそう考えます。そうであれば、これらの地域資源を生かし、人口減少社会であっても、経済が持続的に発展し、その果実として豊かな市民の暮らしが実現できる新たな仕組みづくりに挑戦しなければならないという強い思いがあります。また、その仕組みづくりには、市民、熱海に関わる多様な人々、事業者そして行政が、従来の役割を再構築しながら、それぞれの役割を果たし、協働していくことが不可欠であります。

道のりは決して平坦ではありませんが、今後の10年間で皆様と共に、熱海市の未来へ続く礎を築いてまいります。

最後に、本計画の策定にあたり、活発なご審議をいただきました総合計画審議会の委員の皆様をはじめ、市民・職員合同会議、市民・中学生アンケートへのご回答、パブリックコメントなどを通じて貴重なご意見・ご提言をお寄せいただいた皆様に対し、深く感謝を申し上げます。

令和3年9月

熱海市長



# 1 計画策定の趣旨

本市では、昭和54年(1979年)にまちづくりの基本方向を示す計画として「熱海市総合計画」を策定し、平成元年(1989年)に「新熱海市総合計画」を、平成13年(2001年)に「熱海フレッシュ21計画」を、平成23年(2011年)に「住むひとが誇りを訪れるひとに感動を 誰もが輝く楽園都市 熱海」を将来都市像に「第四次熱海市総合計画」を策定し、各種の施策を推進してきました。

この間、新庁舎建設、熱海駅前広場の整備等により、市発展の礎を築く都市機能の充実を図るとともに、子育て支援に注力すべく、認定こども園の整備をはじめ、充実した子育て、教育施策等を展開し、市民福祉の向上に取り組んできました。

一方で、長期的な景気の低迷が経済活動に大きな影響を及ぼし、本市における税収はピーク時の平成8年(1996年)と比較して大きく減少しています。こうした中、今後も高齢化の進行等に伴う社会保障関係費や老朽化が進む公共施設の再整備費などに多額の財政需要が見込まれています。

さらに、価値観やライフスタイルの変化等により、市民ニーズも多様化しているほか、自然災害の脅威に対する防災・減災に向けた取組に加え、世界的に感染が流行している新型コロナウイルス感染症により影響を受けた市内経済の回復への取組などが重視されています。

このような状況変化を踏まえ、過去の成果を継承しつつ、これからの時代のニーズに的確に対応した持続可能なまちづくりを進めるため、「第五次熱海市総合計画」を策定するものです。

新たな「第五次熱海市総合計画」は、今後のまちづくりの指針として、本市が目指すべき将来像を明らかにするとともに、その実現のための方策を示したものであり、本市のまちづくりにおける最上位の計画として位置付けられるものです。

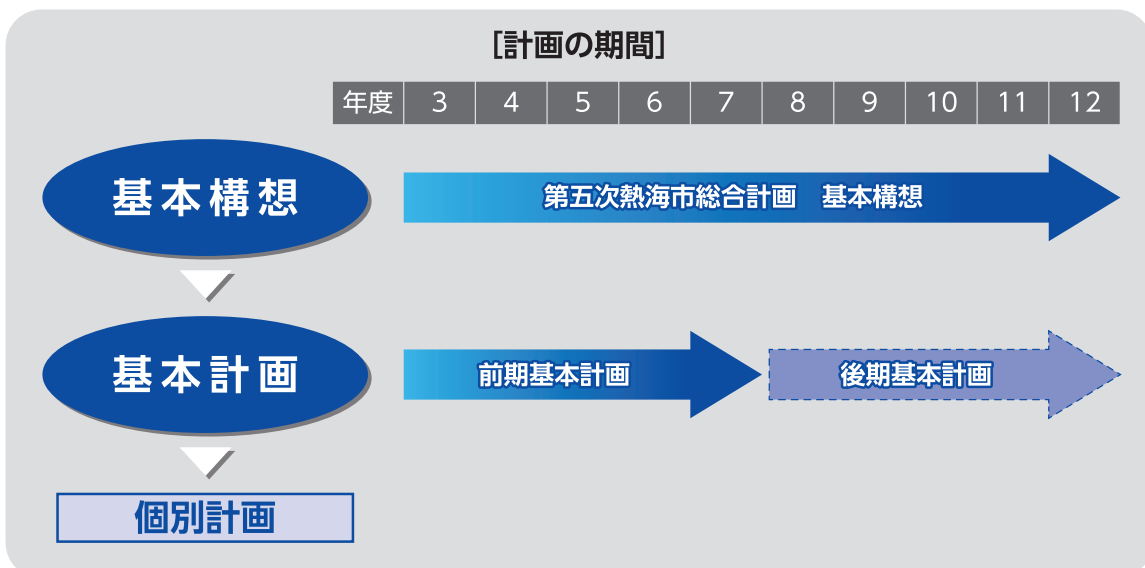
# 2 計画の構成

## 基本構想

基本構想は、まちづくりの基本理念を明らかにするとともに、本市の将来像を示すものです。計画期間は、令和3年度(2021年度)から令和12年度(2030年度)までの10年間です。

## 基本計画

基本計画は、基本構想に示した将来像を実現するために、必要な諸施策を体系的に示すもので、前期計画と後期計画で構成します。ここでは、令和3年度(2021年度)から令和7年度(2025年度)までの5年間を計画期間とした「前期計画」を定めています。また、基本計画で定めた施策を計画的かつ効率的に実施していくために必要となる具体的な事業については、環境やニーズの変化を踏まえ個別計画により対応していきます。



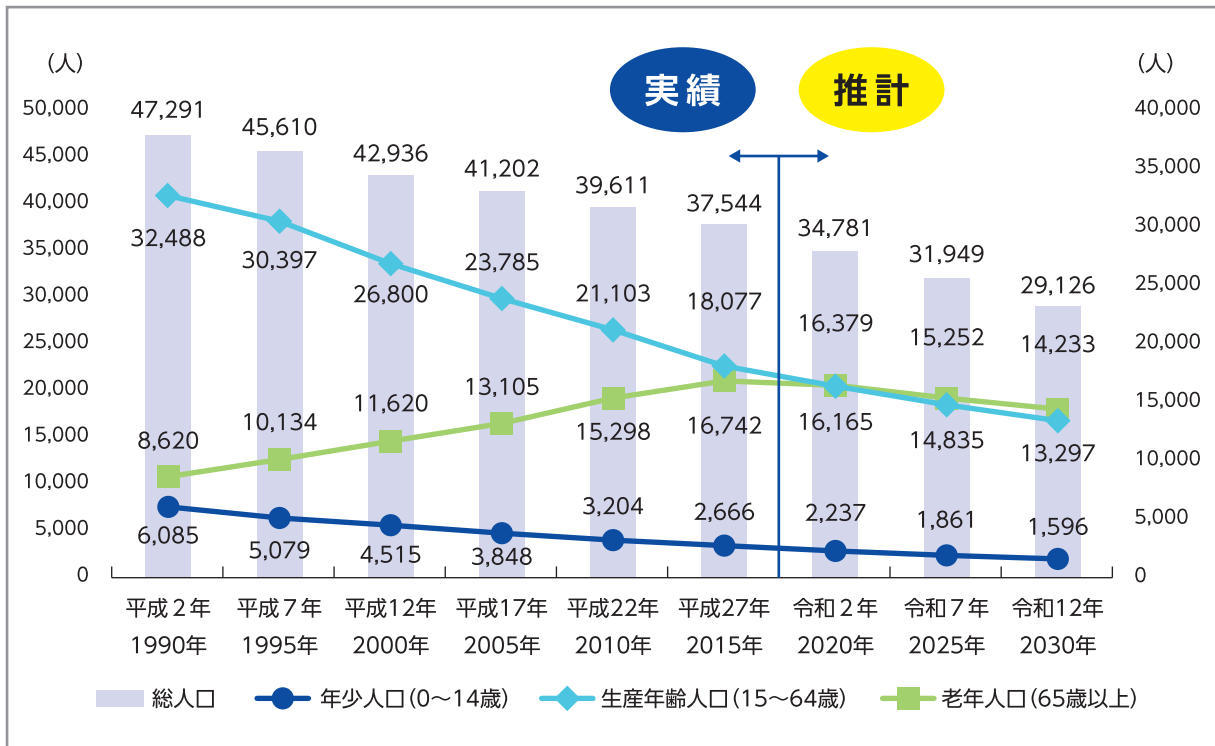
### 3 人口推移

本市の人口は減少傾向にあり、平成27年(2015年)の国勢調査を基にした「国立社会保障・人口問題研究所」の推計(\*コーホート要因法)によると、令和12年(2030年)における本市の総人口は、約29,000人に減少し、高齢化率は48.9%に増加すると予測されています。

さらに、同推計では令和2年(2020年)以降生産年齢人口が老年人口を下回ると推計されていることから、若年層の流出を本市の最重要課題の一つととらえ、安定した雇用の場の確保、居住環境の整備、出産・子育て環境の充実、交流人口の拡大と移住・定住の促進といった取組を一層推進するとともに、温泉観光地という本市の特性に一層の磨きをかけて、将来の人口減少の抑制を目指していきます。

国勢調査における熱海市総人口の推移と推計人口

※各年10月1日現在



\*コーホート要因法：基準年の人口をベースに、各コーホート(年齢階級)ごとに、推計要因の仮定値(推計値)を用いて推計年の将来人口を求める方法

## 4 時代の潮流

### (1) 人口減少と少子高齢化の進行

- 日本の総人口は平成20年(2008年)の1億2,808万人をピークに減少
- 2053年には1億人を割って9,924万人となり、2065年には8,808万人になると推計
- 2064年にはおよそ4人に1人が75歳以上になると推計

### (2) 地域コミュニティの希薄化

- 少子高齢化や人口減少、都市化やライフスタイルの多様化
- 地域における様々な活動での担い手不足

### (3) 多様性を認め健康に暮らせる社会づくり

- お互いを理解しながら多様性を認めあえる地域共生社会・多文化共生社会の実現
- 育児と介護の両方を同時に行うダブルケアや老老介護が増加
- 「我が事・丸ごと」の地域づくりへの支援体制の構築
- 社会・経済の活力を高め、社会保障制度を持続可能なものとしていく

### (4) 安全・安心な社会の構築

- 国土の地理的・地形的・気象的な特性から歴史的に数多くの大規模災害が発生している
- 「強さ」と「しなやかさ」を持った安全・安心な国土・地域・経済社会の構築に向けた取組
- 新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延により、人々の生活様式が大きく変容していく中、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図る取組が必要とされている

### (5) 地方創生の推進

- 東京圏への一極集中の傾向がいまだ継続している状況にある
- まち・ひと・しごと創生総合戦略において、活力ある地域社会を維持していくことが必要

### (6) 高度情報ネットワーク社会の進展

- ビッグデータやAIを利活用した、地域課題の解決や産業の効率化・活性化への期待
- 目指すべき未来社会の姿とする「Society(ソサエティ)5.0」実現にあたってデジタル化進展による快適な生活への期待

### (7) SDGs(持続可能な開発目標)に関する取組の展開

- 地球上の誰ひとりとして取り残さない包摂的な社会づくり
- 我が国においては、「SDGs実施指針」を決定し、8つの優先課題と具体的施策が示されている
- 各種計画や戦略、方針の策定や改訂にあたってはSDGsの要素を盛り込み、達成に向けた取組の推進

## 5 SDGsとの連携

本市では、第五次熱海市総合計画の各施策分野に、SDGsの目指す17のゴールを関連付けることで総合計画、地方創生、SDGsを一体的に推進していきます。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS





## 6 将来都市像とその実現

### (1) 基本理念

あらゆる世代の人々が、安心して暮らし、働き、学び、活躍するとともに、歴史、文化に誇りを持ち、湧き湧くいで湯のように温かなおもてなしのところで訪れる人々を迎える世界に開かれた「湯のまち 熱海」を築いていきます。

### (2) 将来都市像

本市は、本格的な人口減少、少子高齢化に加え、公共インフラの老朽化などの課題に直面しています。これらは税収の減少に加え、社会保障関係費、公共インフラ維持管理経費等の増大を招き、その影響は、地域社会そのものの存続にまで及びことも予想されます。

こうした様々な地域課題に対して、市民と熱海に関わる多様な人々、事業者、行政が一体となり、それぞれの役割を果たしながら協働していくことで、持続可能なまちづくりに取り組みます。

具体的な方向性は、以下の通りです。

少子高齢化の進行、単身高齢者世帯の増加など社会構造の変化による地域コミュニティの弱体化により地域における支えあいの基盤が低下するなど地域社会が変化中、住民相互の支えあい機能と公的支援の連携が求められていることから、「人と人がつながり、健康でいきいきと過ごせるまち」を目指します。

観光関連産業の持続性を高めるには、多様な地域資源に立脚し、時代や価値観の変化に柔軟に対応するとともに、満足度の高い滞在空間を創造することが求められていることから、「多様な魅力を生かした活力あふれるまち」を目指します。

都市基盤においては、計画的かつ適切な整備を図ることにより、多様なライフスタイルに対応した快適性と利便性を兼ね備えた、誰もが暮らしやすく若い世代が子育てしやすいまちづくりが求められていることから、「地域の特性に応じた機能的なまち」を目指します。

誰もが生涯にわたって学習やスポーツに取り組むとともに、本市の歴史・芸術文化に加え、多文化に触れる機会の創出が求められていることから、「子どもの豊かな感性を育み、誰もが生きがいを持てるまち」を目指します。

消防・危機管理分野では、消防力の充実強化を図るとともに、将来予測される大規模地震や自然災害などの被害を最小限に抑え、犯罪や交通事故を未然に防止するため、自助、共助、公助が一体となった取組による防災体制や防犯対策の強化が求められていることから、「安全で安心して暮らし、過ごせるまち」を目指します。

まちづくりの基本理念とこれらの目標を踏まえ、本市が目指す将来都市像を次のように掲げます。

## 『共に創り 未来へつなぐ 湯のまち 熱海』

### 1. 共に創り

市民等が地域において何らかの役割を果たしつつ、「地域力」により、地域課題を共同で解決し、行政はその支援をしていく。また、行政分野においては、人口減少社会に対する課題解決手段として、関係人口の創出や周辺市町との広域連携を推進し、共に「まち」を創っていく。

### 2. 未来へつなぐ

産業の活性化によりまちが賑わい、将来の人口減少を抑制し、安定的な財政基盤を構築することで、本市の持続的な発展を図るとともに、温泉、風光明媚な自然環境、歴史・文化を守り、あらゆる地域資源を次の世代に引き継いでいく。

### (3) 実現のための基本視点

#### ① 地域力を存分に発揮する

市民一人ひとりが持つ力を存分に発揮し、地域において何らかの役割を担いつつ、地域課題を共同して解決していく「地域力」を向上させていきます。

#### ② 様々な魅力を生かして新たな産業を創出する

観光業の他に柱となり得る地域資源を生かした新たな産業の創出や起業・創業などを促進し、温泉観光地としてだけでなく産業分野でも存在感を発揮していけるようなまちを目指します。

#### ③ 広域連携により行政課題を解決する

本市が抱える行政課題を解決していく手段として、今後さらに広域連携を推進します。

## 将来都市像

# 共に創り 未来へつなぐ 湯のまち 熱海

### 【1】 人と人がつながり、健康で いきいきと過ごせるまち

- (1) 市民協働のまちづくり
- (2) 地域福祉の推進
- (3) 生涯を通じた健康づくり
- (4) 障がい者福祉の充実
- (5) 高齢者福祉の充実
- (6) 資源環境と地球温暖化対策の推進
- (7) 環境意識の向上と地域環境の保全
- (8) 消費生活の安定と向上
- (9) ジェンダー平等な社会の実現

### 【2】 多様な魅力を生かした 活力あふれるまち

- (1) 観光の振興
- (2) 商工業の振興
- (3) 起業・創業の支援と雇用の創出
- (4) 農林水産業の振興

### 【3】 地域の特性に応じた 機能的なまち

- (1) 地域特性に応じた空間づくり
- (2) 住環境の整備
- (3) 道路・河川・海岸の整備
- (4) 公園・緑地の整備
- (5) 安全な水の安定供給
- (6) 市営温泉の安定供給
- (7) 下水道施設の整備

### 【4】 子どもの豊かな感性を育み、 誰もが生きがいを持てるまち

- (1) 子ども・子育て支援の推進
- (2) 熱海らしい特色ある教育の推進
- (3) 文化の振興
- (4) 生涯学習の充実
- (5) スポーツの推進

### 【5】 安全で安心して暮らし、 過ごせるまち

- (1) 消防・救急体制の強化
- (2) 防災体制と地域防災力の向上
- (3) 安全・安心な暮らしの充実

持続可能な行財政運営

## 7 将来都市像実現に向けた基本目標

### 【1】人と人がつながり、健康でいきいきと過ごせるまち

少子高齢化の進行、単身高齢者世帯の増加など社会構造の変化により、地域における支えあいの基盤が低下し、地域コミュニティの弱体化が進む中、住民相互の支えあい機能と公的支援の連携を強化することで、『人と人がつながり、健康でいきいきと過ごせるまち』を目指します。

#### (1) 市民協働のまちづくり

- 市民一人ひとりのまちづくりへの参加意識を醸成する機会の提供
- 地域の交流、情報共有の場としての事例発表や意見交換の開催支援
- 現状や課題を共有し、地域の活性化や課題解決に向けた団体間の連携の促進
- 市民や地域団体からの協働によるまちづくりに関する相談・支援体制の整備
- 市民活動団体の収益確保などによる持続可能性を高めるための主体的、自立的活動の育成支援
- 協働事業市民提案制度などの仕組みの構築

#### (2) 地域福祉の推進

- 市民一人ひとりや世帯が抱える複合化、複雑化した課題解決につながる総合相談機能と包括的支援体制の整備
- 市と社会福祉協議会で連携し、市民、地域活動団体、事業者等、地域福祉を推進する様々な主体を支える取組
- 市民や医療・福祉の専門職、公的機関が一体となって、医療・介護の提供、予防や健康づくり、生活の支えあいに取り組む「熱海版地域包括ケアシステム」の推進

#### (3) 生涯を通じた健康づくり

- ICT等を積極的に活用し、健康づくりに関する情報を集約し発信
- 個人の健康づくりをサポートする組織・団体の活動を支援
- 健康づくり活動のモチベーションを高める取組を実施
- 医療従事者が関係機関と情報共有し、連携する仕組みの構築
- 地域における食育推進活動を支援

#### (4) 障がい者福祉の充実

- 基幹的な相談支援体制の整備
- 地域生活支援拠点等の整備
- 短期入所が可能な施設の誘致等
- グループホームの誘致
- 関係機関と連携した就労機会の提供
- 権利擁護の推進

#### (5) 高齢者福祉の充実

- 在宅サービスや施設サービス福祉用具など介護サービス・介護予防サービスの充実
- 在宅生活安心システムや高齢者等給食サービス事業など高齢者福祉サービスの充実
- 権利擁護の推進【再掲】
- 認知症サポーター養成講座など認知症施策の充実
- 地域ケア個別会議・地域ケア推進会議を実施

#### (6) 資源環境と地球温暖化対策の推進

- ごみ減量と再資源化の推進
- 廃棄物の適正処理の推進
- 学校・地域・事業所におけるリサイクル活動への支援
- ごみ焼却施設の適正な維持管理
- 地球温暖化防止の啓発
- 再生可能エネルギー利用システムの設置支援
- 省エネルギー対策についての市民意識の啓発

#### (7) 環境意識の向上と地域環境の保全

- 環境美化意識の向上のための啓発や不法投棄の取り締まりの実施などによるきれいなまちづくりの推進
- 幼児期から環境保護意識を持つ事ができるよう、学校等における環境教育・環境学習の推進
- 公害を未然に防止するための公害防止指導
- 生活排水などによる河川や海の汚濁防止のための浄化槽の適正管理の啓発
- 環境保全活動ができる機会や場づくりなどの支援による環境保全の啓発
- 市民等との協働により環境に対する取組をさらに推進するための第三次熱海市環境基本計画の策定
- 持続可能性の高い温泉資源の利用方法についての研究の推進

#### (8) 消費生活の安定と向上

- 消費生活相談員や消費者団体と連携した講演会や出前講座等による知識の普及
- 成人年齢の引き下げに伴う若年層への消費者教育の充実
- 悪質業者やSNSによる広告、通信販売など契約トラブルに遭いやすい事例の情報発信
- 関係機関や見守り者となつながらの団体と連携した見守り体制の構築
- 消費者支援の専門知識を有する消費生活相談員による相談体制の充実

#### (9) ジェンダー平等な社会の実現

- 関係団体と協働し、あらゆる世代に対し、様々な媒体や機会を通じた啓発活動の実施
- 安心して働き続けるための見守りや居場所づくりなど地域ぐるみで支えあう仕組みづくり
- 事業所における女性の活躍に関する状況把握・課題分析の支援
- 出産・育児後の再就職やキャリアアップ形成のためのセミナーの開催
- 男女共同参画の実現のため、審議会等委員への女性登用や、市の女性職員の管理職への登用促進



## 【2】多様な魅力を生かした活力あふれるまち

本市は、天与の恵みである「温泉」、海・山に囲まれた良好な「景観」、そこに育まれた「歴史・文化」など多様な地域資源を有しています。また、伊豆箱根エリアの玄関口に位置するという首都圏からの立地の良さに加え、これまで交通網の発展とともに時代のニーズにあった観光地として変化することで発展してきました。これからも多様な地域資源に立脚し、時代や価値観の変化に柔軟に対応していきながら、満足度の高い滞在空間を創造することで、『多様な魅力を生かした活力あふれるまち』を目指します。

### (1) 観光の振興

- ICTの活用も視野に入れた観光ブランドプロモーション、メディアプロモーションの実施
- 市民団体による観光まちづくり事業への支援
- ライトアップ等によるナイトスポットの整備
- 観光地域づくり組織(熱海型DMO)の構築と観光への活用を目的とした財源の確保
- 広域・地域連携による回遊促進施策の実施
- 観光施設等が実施する外国人観光客受入環境整備事業への支援
- 観光ニーズ等に対する調査・分析、観光統計の整備

### (2) 商工業の振興

- 市民・観光交流客等のニーズにあわせた買い物環境の整備
- 地域の特色を生かした魅力ある商店街空間の創出
- A-bizによる個店支援強化及び事業者間マッチングの推進
- 熱海商工会議所などの関係機関と連携し、事業承継に関する情報の提供及び相談体制の構築

### (3) 起業・創業の支援と雇用の創出

- リノベーションまちづくりの推進により、ローカルビジネス、地域課題解決型ビジネスなどの起業や、ICTを活用した労働環境の効率化・改善
- A-bizによる伴走型支援の充実
- ハローワークと連携して、雇用情勢の改善や地元企業の人材確保に向けた施策を実施
- 都市経営課題と地域資源活用事例の把握及び内外に対する情報発信

### (4) 農林水産業の振興

- 新規就農者に対する情報提供、活動支援及び助成の実施
- 適切な森林環境維持に向けた情報把握及び発信
- 追い払い等の鳥獣被害防止対策事業及び電気柵等の自衛対策助成の実施
- たい、ひらめの稚魚やあわびの稚貝、わかめ種苗等の放流への助成の実施



## 【3】地域の特性に応じた機能的なまち

商業、医療、福祉等の多様な都市機能を集積した拠点の集約化を図るとともに、道路、公園等の必要な都市基盤について、計画的かつ適切な整備を図ることにより、多様なライフスタイルに対応した快適性と利便性を兼ね備えた、誰もが暮らしやすく、若い世代が子育てしやすい『地域の特性に応じた機能的なまち』を目指します。

### (1) 地域特性に応じた空間づくり

- 中心市街地の魅力・回遊性向上に向けた、インフラの改修及び再整備
- 心地よい空間形成に向けた、空き店舗等のリノベーションによるまちの新たな魅力の創出
- 渚第4工区、観光港遊休地等熱海港湾の整備利活用
- 熱海市景観計画、熱海市景観条例、熱海市屋外広告物条例の検証・見直し
- 特別用途地区、熱海市まちづくり条例の検証・見直し
- 熱海市緑の基本計画の検証・見直し

### (2) 住環境の整備

- 熱海市立地適正化計画に基づく都市機能誘導施設誘致の検討
- 耐震性の劣る郊外の市営住宅のあり方を見直し、民間空き家ストックの有効利用による、まちなか(居住誘導区域内)移住の促進
- 歩行環境の改善による徒歩での生活がしやすいまちづくり及び交通困難地域対策の検討
- 津波、土砂等の災害リスクを想定した市内全域の避難地形時間地図(逃げ地図)の作成

### (3) 道路・河川・海岸の整備

- 歩行環境の改善による徒歩での移動がしやすいまちづくりの推進
- 橋梁の修繕工事と耐震補強工事の計画的推進
- 渚第4工区、観光港遊休地等熱海港湾の整備利活用【再掲】
- 地域の実情に応じて、県が行うハード対策に市が行うハード・ソフト対策を組み合わせた総合的な津波対策を推進
- 広域幹線道路整備促進のための要望活動
- 道路等の異常箇所の特定にICTを活用したシステムの導入

### (4) 公園・緑地の整備

- 公園施設の全体を把握し、有効的な再編、集約、更新、長寿命化等を計画的に行い、特性を明確にした公園整備を実施
- 策定した修繕計画をもとに予防保全の実施
- ニーズに沿った健康遊具等の整備
- ハイキングコースの道標、案内板等の散策機能の整備と効果的な周知
- 公園管理の担い手となるボランティア団体の活動を支援
- 従来型の行政が提供した花苗を植え育てる方法から、教育現場における次世代の担い手づくり等を通じた市民自ら花苗から育て管理をする市民等主体の活動への転換
- 花壇等の詳細管理のスキルアップ講座や初心者向け講座の実施

### (5) 安全な水の安定供給

- 安全な水を持続して供給できるよう浄水場の整備・更新、耐震化工事の計画的な実施
- 安定した水の供給のための水道施設や管路の更新・耐震化の計画的な実施
- 給水拠点マップの作成など、非常時給水体制の検討と構築

### (6) 市営温泉の安定供給

- 源泉保全のための改修工事
- 安定供給を維持するための計画的な管路・施設更新
- 健全経営を継続するための効率的な動力装置への更新工事
- 市営温泉に関する情報発信

### (7) 下水道施設の整備

- 熱海市公共下水道ストックマネジメント計画に基づく計画的・効率的な管路施設や下水処理場等の管理(点検・調査、修繕・改築)の実施
- 地域からの要望などを踏まえた下水道未普及地域における下水道管の新設整備の検討
- 戸別訪問、施設見学、広報誌・新聞・ホームページによる情報発信等の下水道の普及促進に関する活動の実施





## 【4】子どもの豊かな感性を育み、誰もが生きがいを持てるまち

子どもやその家庭を取り巻く環境が変化中、家庭、学校、地域、行政などが一体となって、子どもと子育て家庭に対する切れ目のない支援と学校教育の充実を図り、また、少子高齢化の進行、健康寿命の延伸、ライフスタイルが変化中、誰もが生涯にわたって学習やスポーツに取り組むとともに、本市の歴史・芸術文化に触れること、また、外国籍住民等との多文化交流を促進することで、『子どもの豊かな感性を育み、誰もが生きがいを持てるまち』を目指します。

### (1) 子ども・子育て支援の推進

- 妊娠から子育てまでの母子への支援
- 教育・保育等の円滑な利用及び保育需要に対応した保育士の確保、熱海市就学前教育カリキュラムに基づく幼児教育の実施など質の向上に係る取組充実
- 地域子育て支援事業の充実
- ワークライフバランスの推進
- 特別な支援を要する子どもに対する支援
- 子どもの居場所づくり、子育てボランティアの募集、地域の教育力を活用した放課後等における学習支援の推進

### (2) 熱海らしい特色ある教育の推進

- 就学前カリキュラムに基づき、乳幼児期からの体験活動や家庭教育支援を推進
- グローバル人材の育成に向け、外国語教育や海外派遣研修の充実
- ICTや民間事業者を活用した新たな授業の実施方法や学力向上施策を検討
- 個別支援計画等の活用や医療等関係機関との連携を進め、幼児期から充実した支援
- 地域活動や体験活動を通じて地域課題を認識し、解決に向けた中核となる人材の養成事業の充実
- 教育の専門性、新学習指導要領の対応、授業力向上のため、校内外の研修の充実

### (3) 文化の振興

- 文化資源の調査、新規の文化財の指定、歴史・文化に関する講座、体験学習の実施
- 史跡江戸城石垣石丁場跡の保存活用体制の検討、整備基本計画の策定
- 旧日向家熱海別邸の大規模修繕と再公開
- 名誉市民杉本苑子先生の遺志を踏まえた(仮称)熱海文学館の開設
- 市有文化施設の適切な管理運営と利用者の満足度を高める整備、活用事業の実施
- 市民文化祭等、市民の自立的な芸術文化活動への支援
- 日本語教室の開催・情報の多言語化等、外国人住民の受入環境の整備

### (4) 生涯学習の充実

- 生涯学習推進大綱の改訂と必要に応じた見直し
- ホームページ及びSNSを活用した生涯学習の取組の情報発信の強化、新たなツールの検討
- 市民大学・市民教室の開催
- 公民館寺子屋の開催
- 人材バンクの人材発掘及び活用促進
- 家庭教育支援員の養成と家庭教育学級への講師派遣及び環境整備
- ブックバスの巡回場所・巡回日・時間帯等の見直し、電子図書館の普及

### (5) スポーツの推進

- 親子や孫と祖父母など誰もが一緒に楽しむことができるスポーツ教室の開催
- 子どもたちが多様なスポーツを体験し、自分にあったスポーツを見つけられる、こどもスポーツ体験教室の開催
- 教室やイベントなどスポーツ情報の一元化を図り、各世代の情報入手環境に配慮した広報展開
- 地区体育祭の支援や市民駅伝の開催を通じた地域スポーツ活動の振興
- スポーツ推進委員活動の充実を図るため、研修会等への積極的な参加
- NPO法人熱海市体育協会や熱海市スポーツ少年団の活動支援と協働事業の実施
- 既存施設の定期的な保守点検、計画的な修繕・改修と有効活用の検討





## 【5】安全で安心して暮らし、過ごせるまち

住宅火災や近年多発する災害から市民等の生命や財産を守るため、迅速かつ確かな消防活動を遂行できるよう、地域防災の中核を担う消防団との連携をさらに密にし、消防力の充実強化を図るとともに、将来予測される大規模地震や自然災害などの被害を最小限に抑え、犯罪や交通事故を未然に防止するため、自助、共助、公助が一体となった取組による防災体制や防犯対策の強化を図ることで『安全で安心して暮らし、過ごせるまち』を目指します。

### (1) 消防・救急体制の強化

- 火災予防運動の啓発活動
- 住宅用火災警報器の設置・維持管理の推進
- 火災予防査察規程に基づく予防査察の実施
- 消防法令等に基づく違反是正の実施
- 防火管理体制及び施設の安全管理の推進
- 普通救命講習会をはじめとした応急手当の普及指導の実施
- 消防職団員の外部派遣研修をはじめとした教育訓練の実施

### (2) 防災体制と地域防災力の向上

- 防災ガイドブック等を活用した出前講座等の啓発活動
- 防災訓練や地域防災連絡会議の実施
- 自主防災会の資機材整備や地域防災リーダー育成の支援
- 関係機関との連携強化
- 防災行政無線の維持・管理
- 防災意識の向上を図るための職員に対する防災教育

### (3) 安全・安心な暮らしの充実

- 市民安全大会の開催による交通安全意識の啓発
- 地域安全コミュニティ会議、防犯協会への支援
- 防犯に対する市民への情報発信及び支援
- 交通安全運動の実施・交通安全教育の推進
- 高齢者を対象とした運転免許返納制度の周知
- 交通安全施設の点検及び整備



## 8 持続可能な行財政運営

急激な少子高齢化に伴い、我が国が人口減少時代に突入した今、本市においても、効果的な対策を講じなければ、人口減少の加速化が予想されます。

これにより、生産年齢人口の減少による市税収入の減少など厳しい財政状況が見込まれる一方、社会保障関係費の増加や公共施設の老朽化対策など、乗り越えなければならない多くの課題も既に存在しています。

また、気候変動による自然災害の脅威や、新型コロナウイルスなどの新たな感染症の蔓延などにより地域社会を取り巻く環境が大きく変容していく中であっても、豊かで多様な価値観を背景とする市民の暮らしと社会経済活動を持続可能な形で支えていかなければなりません。

持続可能な行財政運営を行っていくには、本市の基幹産業である観光業の活性化と、新たな産業の創出や起業・創業などの促進に取り組むとともに、地域での生活課題を市民と行政が共同で解決していく地域力の向上を図り、近隣自治体との広域連携によって行政サービスの効率化を推進することにより、安定的な財政基盤を構築することが重要です。

市民や地域で活動する団体等と行政が連携し、安心して暮らせるまちづくりを進めるため、柔軟性と適応性のある行財政運営を図っていきます。

- 第五次熱海市総合計画、第2期熱海市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況の管理・検証
- 将来負担・財政リスクを踏まえた予算措置と新たな財源確保の検討
- 横断的な連携が図れる行政組織の整備
- 人材育成ビジョンに基づく職員研修
- 熱海市定員適正化計画の策定
- 市民サービスの向上と行政における課題解決に向けた広域連携の推進

- プッシュ型情報発信による戦略的なシティプロモーション活動
- ICTを活用した情報政策の推進
- 新たな収納手段（電子納付等）の検討
- 電子申請等、オンラインによる行政手続きの推進
- ウェブ会議などデジタル技術を活用した行政運営の推進
- 第2期公共施設アクションプランの策定
- 公有財産の利活用スキームの確立

## 【施策別指標一覧】

計画期間中の取り組みの達成状況を示す尺度として、施策別指標を掲げています。

基本目標	施策	指標	現状値	目指す姿
「1」人と人がつながり、健康でいきいきと過ごせるまち	(1) 市民協働のまちづくり	地域活動に参加している市民の割合	55.7%	65%
		協働事業市民提案制度により実施した協働事業数(累計)	0件	5件
	(2) 地域福祉の推進	地域活動に参加している市民の割合【再掲】	55.7%	65%
		困っているときに家族以外に相談できる人がいる人の割合	87.4%	90%
	(3) 生涯を通じた健康づくり	特定健康診査受診者のうち、生活習慣の改善を実施している人の割合	51.7%	73.0%
		特定健康診査の受診率	30.2%	40.0%
	(4) 障がい者福祉の充実	基幹相談支援センターの整備	0か所	1か所
		短期入所を提供できる事業所等の確保	0か所	1か所
	(5) 高齢者福祉の充実	お達者度の向上	男性 17.90年 女性 21.17年	男性 18.59年 女性 21.97年
		高齢者の集いの場の数(地域サロン・総合事業通所型サービス)	28か所	35か所
	(6) 資源環境と地球温暖化対策の推進	ごみの総排出量(粗大ごみを含む。)	23,100 t	21,483 t
		雑がみ回収プロジェクトの回収量(累計)	660t	1,110t
	(7) 環境意識の向上と地域環境の保全	環境教室の参加者数	301人	350人
		公害相談件数	40件	20件
		不法投棄処理件数	40件	20件
	(8) 消費生活の安定と向上	消費生活相談窓口でのトラブルや被害の相談件数	112件	150件
		消費者生活講座の受講者数	0人	100人
	(9) ジェンダー平等な社会の実現	社会通念・慣習・しきたりにおける男女の平等感について優遇されているのは「男性」「どちらかといえば男性」とする人の割合	67.2%	55.0%
市の審議会等委員に占める女性比率		22.7%	35.0%	
町内会役員の女性の割合		6.6%	12.5%	



基本目標	施策	指標	現状値	目指す姿	
【2】多様な魅力を生かした活力あふれるまち	(1)観光の振興	宿泊客数	3,002,800人	3,250,000人	
		観光消費額	918.9億円	930.0億円	
		市民満足度	—	70%	
	(2)商工業の振興	市内小売・飲食・サービス業の法人市民税申告額(市内本店事業所分)	卸売・小売業	29,629千円	卸売・小売業 36,398千円
			飲食店、宿泊業	28,839千円	飲食店、宿泊業 35,428千円
			その他サービス業	17,064千円	その他サービス業 20,962千円
		事業承継支援数(累計)	—	10件	
		A-biz相談数	1,066件	1,150件	
	(3)起業・創業の支援と雇用の創出	A-bizの伴走型支援による創業及び新分野進出数	9件	10件	
		市内従業者数(事業所単位)	19,637人	20,000人	
	(4)農林水産業の振興	第1次産業従事者人口	265人	267人	
		認定新規就農者数	2人	4人	
		農地への鳥獣被害面積	895a	720a	
【3】地域の特性に応じた機能的なまち	(1)地域特性に応じた空間づくり	バリアフリー化整備総延長	2,310m	4,430m	
		違反広告物は正進捗率	77.2%	90.0%	
	(2)住環境の整備	市営住宅管理戸数	1,129戸	885戸	
		住宅の耐震化率	83.8%	95.0%	
	(3)道路・河川・海岸の整備	バリアフリー化整備総延長【再掲】	2,310m	4,430m	
		橋梁長寿命化修繕工事の完了数(累計)	62橋	86橋	
		渚第4工区整備事業進捗率	0%	80%	
	(4)公園・緑地の整備	姫の沢公園利用者数	公園	128,218人	公園 147,000人
			スポーツ広場	16,474人	スポーツ広場 20,000人
		担い手創出のための教育現場における協働活動数	1回/年	3回/年	
	(5)安全な水の安定供給	地域の方が主体となって緑化活動をしている公園、花壇等のか所数	13か所	現状維持	
		浄水施設の更新・耐震工事完了数(累計)	1施設	3施設	
	(6)市営温泉の安定供給	水道管路の耐震化率	43.3% (R2.3月末現在)	48.3%	
		源泉の改修工事完了数(累計)	8か所	11か所	
	(7)下水道施設の整備	動力装置の更新数(累計)	4か所	8か所	
		熱海市下水道管路施設長寿命化計画・熱海市公共下水道ストックマネジメント計画に基づく下水道管の改築済み総延長	2.0km	4.0km	
		下水道接続件数(累計)	13,234件	13,534件	



基本目標	施策	指標	現状値	目指す姿
【4】子どもの豊かな感性を育み、誰もが生きがいを持てるまち	(1) 子ども・子育て支援の推進	ファミリー・サポート・センター まかせて会員登録数	17人	25人
		子育てアプリのユーザー登録者数	283人	400人
		子育て支援訪問事業	25人	35人
	(2) 熱海らしい特色ある教育の推進	全国学力調査全国平均科目割合	小学校 50%	小学校 100%
			中学校 100%	中学校 現状維持
		民間英語検定アセスメントテスト においてCEFRのA1レベル相当以上を達成した割合	—	50%
		地域総合学習等授業数	—	5コマ
	(3) 文化の振興	新事業カリキュラムの実施数	—	5事業
		国・県・市指定、登録等文化財総数	205件	210件
			小中学生の参加する文化事業数	5件
	(4) 生涯学習の充実	国際交流事業への外国人参加数	40人	80人
		市民教室受講者状況	65.49%	70.00%
		人材バンク登録状況	のべ99人	のべ110人
	(5) スポーツの推進	図書貸出冊数	116,184冊	130,000冊
		週に1回以上スポーツをしている人の割合	31%	50%
学校施設利用団体数		82団体	現状維持	
【5】安全で安心して暮らし、過ごせるまち	(1) 消防・救急体制の強化	予防査察件数	327件	500件
		住宅用火災警報器設置率	71%	90%
		救命講習修了者数	549人	760人
	(2) 防災体制と地域防災力の向上	市民等の防災意識高揚を目的とした講演会及び出前講座開催数	15件	25件
		地域防災訓練の参加自主防災会数	57団体	65団体
		安全性について満足と感じる市民の割合	48%	60%
	(3) 安全・安心な暮らしの充実	刑法犯認知件数(平均)	H28~H30 238件	R3~R7 200件
		運転免許証返納件数(累計)	H28~H30 788件	R3~R7 1,000件
	持続可能な行財政運営		総合計画前期基本計画進捗率	—





---

## 第五次熱海市総合計画 基本構想・前期基本計画 概要版

発行日 令和3年9月  
発行 熱海市 経営企画部 企画財政課  
〒413-8550 静岡県熱海市中央町1番1号  
電話 0557(86)6074  
<https://www.city.atami.lg.jp/>

---